

 AUTOBACS
GPR
KARTING SERIES
2025

GOTEMBA ROUND RACE REPORT



2025年 全日本カート選手権 OK部門 第5戦・第6戦

2025年 ジュニアカート選手権 ジュニア部門 第5戦・第6戦

2025年 ジュニアカート選手権 ジュニアカデット部門 第5戦・第6戦

2025年 Rok CUP JAPAN GPR RokSHIFTER 第5戦・第6戦



2025年8月30日～31日
オートパラダイス御殿場



OK Class

『第5戦:酒井仁が逃げ切って優勝!』

今回も前回同様に18台がエントリー。タイムトライアルでは、渾身の攻撃を見せた酒井龍太郎(ミツサダPWG RACING)がトップタイムを獲得。2番手に鈴鹿以来の優勝を狙う酒井仁(KF MOTORSPORT)が続く。

22週の決勝レース。まずは酒井龍太郎が先頭で周回を重ねるが、3周目の5コーナーで酒井仁がトップを奪い、その後酒井龍太郎を引き離していく。その後方には中井悠斗(Team EMATY)、澤田龍征(HIROTEx RACING)らが続きポジション争いを演じる。

終盤、酒井龍太郎が酒井仁に接近していくものの、酒井仁もミスなく落ち着いた走りを見せトップをキープする。最終ラップも、直後に酒井龍太郎を従えながらブロックすることなく逃げ切った酒井仁が今季3勝目を獲得した。2位に酒井龍太郎、3位は競り勝った中井が入り、表彰台を獲得した。

優勝ドライバー:酒井 仁 (No.2 KF MOTORSPORT)

「序盤に出る作戦を考えていて、それがうまくできました。後ろから迫ってくるペースはわかっていたので、ミスなく走って集中してレースしようと思っていました。同じくらいのペースだったので、ミスしなければ勝てると思っていました。午後ミスなく走って優勝したいです。」

『第6戦:今度は酒井龍太郎が独走優勝!』

第6戦のPPは酒井龍太郎、2番手に酒井仁が続く。スタートは、今度も酒井龍太郎がホールショットでスタートを切り、まずはトップでオープニングラップを終える。2番手には5番グリッドスタートだった皆木駿輔(Drago CORSE)が上がり、その後方に3番手集団が続く。7周目、最終コーナーで酒井仁と三村壮太郎(K.SPEED WIN)が絡むクラッシュが発生。三村は再スタートしたものの、酒井仁はその場でリタイアとなる。トップの酒井龍太郎は皆木の接近を許すことなく独走し、そのまま26周を走りきってチェッカー。今季2勝目を獲得した。2位には皆木、3位は最後尾から追い上げファステストラップも獲得した中野駿太(Racing Square GEN)が獲得した。

優勝ドライバー:酒井 龍太郎 (No.44 ミツサダPWG RACING)

「APGは何年も走っていてデータもある中、去年はトラブルで勝てなかったし、午前のレースも勝てなかったなので、その分もリベンジできてうれしい。次も連勝目指して頑張ります。」



Junior Class

『第5戦:坂野太紘、土付かずの5連勝!』

12台参加となるジュニアクラス。タイムトライアルで圧巻のタイムをマークしたのが、今季負け知らずの4連勝となっている坂野太紘(Peak Performer with THISTLE)。2番手にコンマ2秒の差をつけトップタイムを獲得する。2番手に林樹生(HIROTEx RACING with IMPUL)、3番手に同チームの北中一季(HIROTEx RACING with IMPUL)、が続く。

決勝では林が好スタートでトップに立ちレースを引っ張っていくが、シグナルのタイミングが合わなかったかやや出遅れていた坂野が4周目には林を捉えトップに浮上する。これで前がひらけた坂野がペースを上げると、林以下後続はついていくことができず、次第に独走へ。終盤は2番手グループ内でのバトルが激しくなったことも坂野を助け、5秒以上の大差を築いてチェッカー。土付かずの開幕5連勝を飾った。

優勝ドライバー:坂野 太紘 (No.88 Peak Performer with THISTLE)

「次がまだあるので、調子に乗らずに頑張りたい。自分に自信もあったので、出遅れても落着いてレースができました。」

『第6戦:坂野太紘が6連勝で日本代表へ』

第6戦PPも坂野。今度はスタートのタイミングも合い、ホールショットを獲得すると、順調にリードを広げていく。2番手には第5戦3位の今村昴星(Vitec Racing)、3番手に北中と続いていく。坂野と今村は単独走行で周回を重ねていき、3番手争いは林が加わり激化、16周目に林が3番手に上がってくる。

坂野は今回も圧倒的なパフォーマンスで、第5戦以上となる6秒以上のリードでフィニッシュ。無傷の連勝を6に伸ばし、タイトルに王手をかけると同時にIAME世界大会への出場権を獲得した。

優勝ドライバー:坂野 太紘 (No.88 Peak Performer with THISTLE)

「最後の方もタイムが良かったのでいいレースだったと思います。調子には乗らなかったですが途中から気持ちよくなりました(笑)GPR全勝目指して頑張ります。スペインでも頑張ります。」



Cadets Class

『第5戦:阿部が3連勝を獲得!』

カデットクラスには今回も17台がエントリー。タイムトライアルでは単独でアタックしていた久田朱馬(ガレージC)が最後の最後にトップタイムを記録。2番手に単独アタックだった田中瀧夫が同タイムで続き、セカンドタイムの差で久田がPPを獲得する。

14週の決勝では、久田が好スタートを切るが、すぐに阿部瑠緯(ミツサダPWG RACING)がトップを奪う。その後は阿部、久田、丹羽舜也(LUCE MOTORSPORTS)、鈴木秀弥(REON RACING TEAM)らが接近戦を展開しながら周回を重ねていく。終盤まで続いたバトルは、最終ラップでも二転三転とし、最後は5コーナーで飛び込んだ阿部が逆転。そのまま後続を抑えきり3連勝となるチェッカーを受けた。

優勝ドライバー:阿部 瑠緯 (No.21 ミツサダ PWG RACING)

「自分のミスはあったけど、チームのおかげで優勝できました。スタートで抜いてくるのを目標にしていたので、それができて良かったです。」

『第6戦:阿部が4連勝でランキングトップへ』

第4戦のPPは久田。2番手に田中と続く。決勝好スタートは阿部。それを久田、鈴木らが捉え序盤から激しいトップ争いを見せる。4周目、トップに返り咲いた阿部がその後はラップリーダーを記録し続け周回を重ねていく。しかし、僅差で鈴木が続き、いつ逆転が起きてもおかしくない展開。最後まで目の離せないレースとなる。それでも、連勝中の阿部の勢いは止まらず、鈴木を抑えきってフィニッシュ。破竹の4連勝となった。2位にはカデットクラスに乗り始めてわずか7ヶ月の鈴木がGPRで表彰台を獲得。3位に久田が入った。

優勝ドライバー:阿部 瑠緯 (No.21 ミツサダ PWG RACING)

「本当にしんどかったのですが、後ろも速かったので緊張もしていました。次回も優勝したいです。」



Shifter Class

『第5戦:中里龍昇が2連勝!!』

7台の参加となったシフタークラス。引き続きSGTDドライバーの松田次生(NEXTBIRTH wis HKC)、平手晃平(CVSTOS Racing ANEST IWATA)も参戦。両者にとっては普段のトレーニングでよく走っているホームコースでのレースとなる。QPでは前回の第4戦で優勝している中里龍昇(Tony Kart R.T.J.)がトップタイムをマーク。同じく、もてぎ大会の第3戦で優勝した伊藤聖七(Ash)が2番手につける。

14周と短期決戦となった第5戦決勝。スタートが重要となる中、好スタートを決めたのはPPの中里。一方の伊藤はスタートでやや出遅れ3番手に後退する。その後、すぐに2番手に上がったものの、中里との間隔は一定のまま動かず、トップ2は単独走行での周回となる。3番手にベテランの島弘光(KP BUZZ)が続き、若手二人を追っていく。終盤に入っても、中里のペースに衰えは見られず、終盤まで伊藤の接近を許さないままチェッカー。もてぎ大会から2連勝を飾った。

優勝ドライバー:中里龍昇 (No.24 Tony Kart R.T.J.)

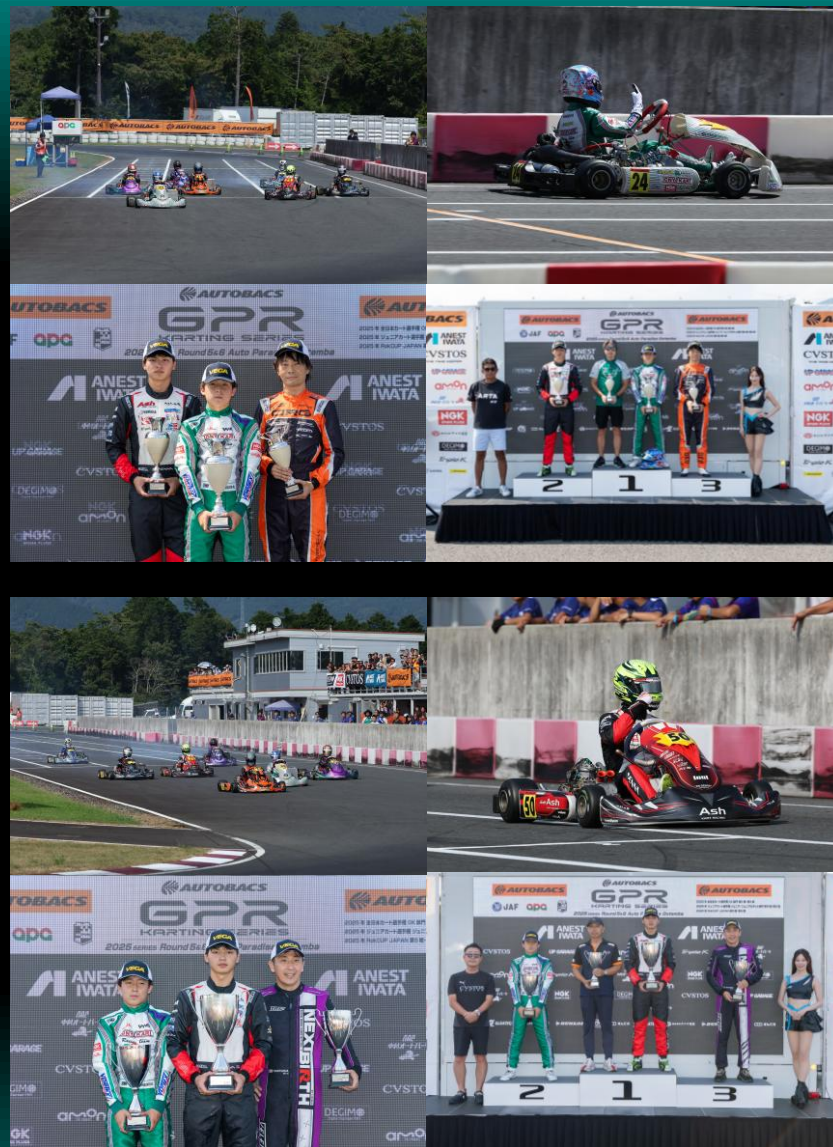
「1位でチェッカーを受けられてよかった。スタートも悪くなかったし、2番手からのプレッシャーも感じてはいました。次も勝ちたいです。」

『第6戦:伊藤聖七が雪辱の優勝で日本代表へ』

第5戦決勝中のベストラップ順となるスターティンググリッド。PPを獲得したのは島。2番手に中里が並ぶ。スタートしても、島がトップを死守し序盤のレースが展開していく。その島を攻略したのが、第5戦の雪辱を期す伊藤。5周目の最終コーナーで島を捉えトップに浮上する。その後、中里も島を捉え2番手に上がるが、そのときにはすでに伊藤は独走状態。それでも、後半にかけて中里が差を縮めていき、15周を超える頃には両者の間隔はコンマ4秒ほどにまで縮まる。しかし、ここで伊藤が踏ん張り、それ以上の接近を許さずにチェッカー。今季2勝目を飾るとともに、この大会終了時点でのランキングトップを確定させ、Rok世界大会となるスーパーファイナルへの出場権を獲得した。

優勝ドライバー:伊藤聖七 (No.50 Ash)

「1戦目のペースがみんなよかったので、スタートはミスしましたが盛り返すことができました。瑞浪は地元なのでもっと力を発揮したいと思います。イタリアのスーパーファイナルでも活躍していきたいです。」



Point Standings - OK

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - Junior

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - Cadets

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - Shifter

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - TEAM

Cadets

Pos.	Team	合計
1	ミツサダ PWG RACING	135
2	ガレージC	125
3	LUCE MOTOR SPORTS	105
4	RT WORLD	92
5	KWS Speed	88
6	HIGUCHI RACING TEAM	80
7	Ash	65
8	チームナガオ	58
9	REON RACING TEAM	40
10	SCUDERIA SFIDA	25
11	ハルナカートクラブ	14
-	AUTO-TEC-RACING	0
-	Sigma Racing	0
-	KF MOTORSPORT	0
-	AP SPEED	0
-	チームエツフェガーラ	0
-	73R	0
-	ガレージ茶畑	0

Junior

Pos.	Team	合計
1	PeakPerformer with THISTLE	150
2	HIROTEX RACING with IMPUL	124
3	Vitec Racing	117
4	ERS with SACCESS	58
5	Front Row 7 Racing & Co	51
6	ハルナカートクラブ	47
7	TAKAGI PLANNING	36
8	Sigma Racing	31
9	AP SPEED	15
-	チームエツフェガーラ	0
-	DELIGHTWORKS RACING	0
-	ラマーレRT	0

OK

Pos.	Team	合計
1	KF MOTORSPORT	109
2	TEAM EMATY	109
3	Drago CORSE	107
4	YAMAHA MOTOR Formula Blue	96
5	ミツサダ PWG RACING	86
6	HIROTEX RACING	61
7	K.SPEED WIN	57
8	Racing Square GEN	53
9	Zi-Vivre RT	26
10	HRT	15
11	GLEATEQ Motorsports	15

Shifter

Pos.	Team	合計
1	Ash	116
2	Tony Kart R.T.J.	112
3	NEXTBIRTH wis HKC	58
4	RSイディアびいたあばん	50
5	MOMOX KART RACING	42
6	KP-BUZZ	36
7	CVSTOS Racing ANEST IWATA	20
8	MID competition	16
-	LAM Racing	0
-	RS nakatsuchi	0
-	TOKAIDENSO DSM	0
-	HRT	0

**NEXT ROUND »» FESTIKA CIRCUIT MIZUNAMI
2025.10.04 (Sat) - 05 (Sun)**

MORE DETAIL »» <https://www.gpr-race.com/>

